

がいらいしよくぶつ ぼうじよ きょうりよく ねが
外来植物の防除にご協力をお願いします。

この植物を栽培したり、
掘げたりすることは、
法律によって禁止
されています。

ツルヒヨドリは、「特定外来生物」です!!

ツルヒヨドリは、南北アメリカの熱帯地域を原産地とするつる性の植物で、日本では1984年に
うるま市の天願川河口付近で発見されました。

英語で「Mile-a-minute weed」(1分で1マイル広がる雑草)の異名を持ち、つるでからみつき
ながら猛烈な勢いで広がっていきます。

在来生態系だけでなく、農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があり、発見したらすぐに防除
することが必要です。

世界の侵略的外来種ワースト100にあげられています。

ツルヒヨドリはこんな植物しよくぶつ



和名: ツルヒヨドリ
 学名: *Mikania micrantha*
 自然分布: 北アメリカ、南アメリカ熱帯地域



全体

つるで絡みつきながら葉を重ね、厚い藪を作り、マント状に覆いながら広がります。増える方法として、一番問題なのは綿毛をつけた種子ですが、引き抜いたり、折れた茎からでも増えることができます。

葉

葉の長さは4~13cm、幅5~10cm、表面はつやつとしていて少し光沢があり、毛は生えていません。1か所から2枚の葉が出る対生です。基本的にはハート形ですが、少し伸びたり、角ばったり形は様々です。葉のふちは少しギザギザしています。

花

11~12月にかけて小さな白い花が集まって咲く集合花をつけます。一つの花の大きさは3mmほどで、1月には綿毛の付いた軽い種を多量につけます。

影響

ツルヒヨドリは他の植物を覆いながら生育するため、その下に生育する植物に光が当たらなくなり、元々あった植物は枯れてしまいます。

どうすればいいの？

除去

防除時期は、花をつける前の11月までに行うことが望ましいです。それ以降だと種をつけ、種を飛散させてしまう恐れがあります。根茎を残すと容易に再生してしまうため、可能な限り丁寧な抜き取り作業を行う必要があります。

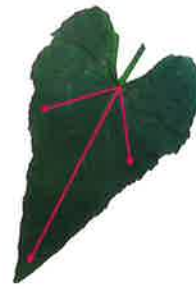
やむを得ず種がついている時期(1月頃)に防除を行う場合は、飛び散らないよう種を先に取り除くなどしてください。また植物そのものはもちろん、ツルヒヨドリの根や種子を含む土砂を他の場所に移さないよう注意してください。

よく似た葉をもつ在来植物

どれもよく似た葉で、縁がギザギザしています。葉脈の入り方が見分けのポイントになります。



ツルヒヨドリ



ツルドクダミ



クロミノオキナワズズメウリ

※外来生物法に違反した場合、最高で個人の場合3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、法人の場合1億円以下の罰金が科せられる場合があります。